



手島 恵 Megumi Teshima

千葉大学大学院看護学研究科教授

日本看護科学学会社会貢献担当理事

1980年徳島大学卒業。1982年千葉大学大学院看護学研究科修了。臨床で看護師をした後、聖路加看護大学で教育・研究に7年間従事。その後、ミネソタ大学の客員研究員としてマッサージなど補完療法の研究に従事した後、ミネソタ大学大学院博士課程の単位を取得。1998年に帰国し、緩和医療で先駆的な取組をおこなってきた医療法人東札幌病院に副看護部長として勤務。2001年千葉大学の教授に就任。

現在、日本看護管理学会副理事長、日本生命倫理学会理事。

■看護とスピリチュアリティ

看護学の領域では、人と人とのつながりが癒しにつながるということがこれまで取組まれてきた研究成果から明らかになっている。現代社会における死の様相の変化をふまえ、人が最期のときをその人らしく過ごすことができるようにするために、何が大切なことなのかを考えてみたい。